

# 平成 30 年度 「地域学校協働活動」 実践事例集



## 平成 30 年度「地域学校協働活動」実践事例集 もくじ

### ■事例集の発行にあたって

### ■平成 30 年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰受賞活動

**01 釧路市** (釧路管内) コミュニティ・スクール/学校支援活動

---

**02 様似町** (日高管内) コミュニティ・スクール/学校支援活動

---

**03 知内町** (渡島管内) 放課後子供教室

---

### ■各市町村における実践事例

**04 新篠津村** (石狩管内) コミュニティ・スクール/学校支援活動

---

**05 安平町** (胆振管内) コミュニティ・スクール/学校支援活動

---

**06 中札内村** (十勝管内) コミュニティ・スクール/学校支援活動

---

**07 中標津町** (根室管内) コミュニティ・スクール/学校支援活動

---

**08 砂川市** (空知管内) 放課後子供教室

---

**09 富良野市** (上川管内) 放課後子供教室

---

**10 中頓別町** (宗谷管内) 放課後子供教室

---

**11 津別町** (林-岬管内) 放課後子供教室

---

**12 今金町** (檜山管内) 外部人材を活用した教育支援活動

---

**13 羽幌町** (留萌管内) 外部人材を活用した教育支援活動

---

**14 白糠町** (釧路管内) 外部人材を活用した教育支援活動

---

**15 黒松内町** (後志管内) 子ども未来塾

---

**16 上川町** (上川管内) 子ども未来塾

---

## 事例集の発行にあたって

平成 27 年の「中央教育審議会」の答申、平成 28 年の「次世代の学校・地域」創生プランの実現に向け、平成 29 年に地方教育行政法と社会教育法が改正され、学校と地域住民等が力を合わせ、学校の運営に取り組むことで、「地域とともにある学校」への転換を図る仕組みであるコミュニティ・スクールの設置や地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」が円滑かつ効果的に実施されるよう地域住民等と学校との連携協力体制の整備や「地域学校協働活動推進員」の委嘱に関する規定が整備されました。

また、昨年、文部科学省と厚生労働省の共同により、全ての児童が放課後に多様な体験・活動ができるよう、効果的な地域ぐるみの推進体制を計画的に整備することを目的にした、これまでの「放課後子ども総合プラン」に代わる「新・放課後子ども総合プラン」が策定されました。

そのため、各市町村においては、放課後の子どもの居場所づくりを含め、従来の学校支援地域本部等の地域と学校の連携体制を、より多くの、より幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する「地域学校協働本部」へと移行することや、地域学校協働活動に関し、地域住民と学校との情報共有や助言等を行う「地域学校協働活動推進員」を委嘱することなど、学校と地域が力を合わせて子どもたちの成長を支える体制を地域の実情に応じて構築することが重要となります。

こうしたことから、道教委では、内容が特に優れ、他の模範と認められる取組として「平成 30 年度『地域学校協働活動』推進に係る文部科学大臣表彰」を受賞した 3 つの活動をはじめとして、道内各地で地域の特色を生かし、先駆的に取り組まれている事例を実践事例集としてまとめました。

各市町村教育委員会や地域学校協働活動関係者の皆様におかれましては、それぞれの取組のみならず、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールといったように複数の取組を有機的に組み合わせた活動を推進するために、本事例集を御活用いただければ幸いです。

最後に、本事例集の作成にあたりまして、関係市町村教育委員会の皆様の多大なる御協力をいただきましたことに、心から感謝を申し上げます。

平成 31 年 3 月

北海道教育庁学校教育局義務教育課地域連携担当課長 加藤 ひとみ

こんな活動です

平成 30 年度「地域学校協働活動」推進に係る  
文部科学大臣表彰受賞活動

コミュニティ・スクール／学校支援活動

コーディネーターを核としたネットワークづくりを目指して

## 鉦路市 鉦路管内

【活動名】

鉦路市地域学校協働本部

【関係する学校】

市内全小・中学校



鳥取しゃんしゃん傘踊りの傘修理体験の様子

## 2 特徴的な活動内容

- コミュニティ・スクール導入校に地域コーディネーターを配置し、統括コーディネーターが相談役として活動の補助・助言をすることで地域コーディネーターが安心して活動できる環境が整備されている。
- 地域コーディネーターをコミュニティ・スクール協議会（学校運営協議会）の委員とし、熟議を通して学校と地域双方の情報を共有することにより、学校と地域のより一層の連携・協働の推進を図っている。
- 活動内容や課題などの情報を共有し、それぞれの学校の活動に活かすことを目的として、地域コーディネーター交流会を年3回実施している。



地域コーディネーター交流会の様子

## 3 事業の成果

- 統括コーディネーターが、全市的な観点から各地域コーディネーターの活動を支え、関係事業をつなぐ役割を担うことで、各地域の地域学校協働活動が地域や学校の実情や特色を生かしながら、より充実・活性化したものになっている。
- 地域のボランティアが学校行事や見守り活動等に関わることで学校・家庭だけではなく、地域全体で子どもを見守り・育てるといった環境が醸成されている。

学校支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
		1人	11人	667人	H28	有
子ども未来塾	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
0人	43人	-	H24	有		
放課後子供教室	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		3人	28人	H20	有	
		実施場所	鉦路市立興津小学校	学習支援	児童クラブとの連携	連携型
外部人材を活用した教育支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
-	-	-	H26	無		
コミュニティ・スクール	○	設置日	委員数	児童生徒数	学級数	
		H27.3.31	111人	1895人	99	

※委員数等は9校（コミスク導入校）の合計数

## 1 活動の概要

- 鉦路市では、平成28年度から鉦路市地域学校協働本部を立ち上げ、統括コーディネーターと教育委員会の担当者が中心となり取組を推進している。
- 学校ごとに活動内容は異なるが、登下校の見守り活動や本の読み聞かせ・図書整理、学校環境整備など、学校からの要望や希望に即した学校支援活動を実施している。

### 「地域学校協働活動」のポイント

コーディネート機能の充実	■ 統括コーディネーターが中心となり、「地域コーディネーター交流会」を開催し、ネットワーク化を促進
活動の継続発展・推進の取組	■ 各校のボランティアを対象に地域学校協働本部主催でボランティア研修会を実施し、活動を通してスキルアップを図る
地域の特色を生かした活動	■ 鳥取小学校では、学校の授業と地域の神社祭での伝統芸能を結び付けた体験的な教育活動を実施

## 幅広い地域住民のふれあいを通じた教育活動

### 様似町 日高管内

【活動名】

様似町地域学校協働活動

【関係する学校】

町立幼児センター、様似小・中学校



(小学校体力テスト測定補助)

基本データ	学校支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			1人	1人	26人	H20	有
	子ども未来塾		統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
				1人	2人	H23	有
			実施場所	学習支援	児童クラブとの連携		
			放課後児童施設	有	一体型		
	外部人材を活用した教育支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
				1人	1人	10人	H28
コミュニティ・スクール	○	設置日	委員数	児童生徒数	学級数		
			H30.4.1	15人	255人	14	

### 1 活動の概要

- 平成 20 年度から学校支援ボランティアが小・中学校の授業や学校行事の支援、グラウンド整備等の環境整備を行っており、平成 30 年度からコミュニティ・スクールも導入している。
- 地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民等の協力で、社会総がかりでの教育を実現するため本事業を推進している。



(推進員：教育委員会職員)

### 2 特徴的な活動内容

- 書道指導や茶道体験などの「学習（授業）支援」や、体力テスト測定補助、大凧作り指導などの「行事支援」、グラウンド整備などの「環境整備」等、様々な活動に、個人や文化団体等の幅広い地域住民が学校支援ボランティアとして参加している。30年度からは幼児センターにも支援の幅を拡大した。活動を通じ、子どもたちの愛郷心や豊かな人間性を育てている。
- 町内の文化団体が放課後等に、「将棋」「百人一首」等の教室を実施している。子どもの健全育成とともに将来の文化活動の担い手育成を目指している。
- 放課後の子どもの居場所づくりとして、学習習慣の確立に向けた ICT 機器を活用した学習活動やボランティアによる体験活動を実施することにより、家庭外で長時間を過ごす児童にも有意義な活動ができるよう努めている。

### 3 事業の成果

- 組織的・継続的な活動となるよう、事業毎に学校との打合せ、記録、反省を行い、学校やボランティアのニーズに合った活動が展開されている。
- ボランティアに参加する町民は年々増加しており、地域住民が気軽に子どもと関わる環境が整ってきている。それにより、町民の中に「地域で子どもを育てる」という意識が根付きつつあり、様似町の現状に即したコミュニティ・スクールの推進につながっている。

#### 「地域学校協働活動」のポイント

コーディネート機能の充実	■社会教育担当係が、学校・子ども・ボランティアそれぞれに有意義な活動となるようコーディネート
活動の継続発展・推進の取組	■ボランティアが負担のない範囲で参加し、活動を通して、楽しさとやりがいを感じることができるよう活動内容を調整
地域の特色を生かした活動	■町内に認定こども園、小学校、中学校がそれぞれ 1 校ずつであるため、幼・小・中一体型の CS を目指した活動を展開

# 地域の力を活用した各種体験活動の推進と学びの循環

## 知内町 渡島管内

【活動名】

知内町放課後子供教室

【関係する学校】

知内小・湯の里小・涌元小



（長期休業中のスポーツチャレンジクラブの取組）

## 2 特徴的な活動内容

- 各学区に放課後子供教室を設置し、長期休業中には地域団体と連携し、スポーツチャレンジクラブや読み聞かせ、工作などの体験活動を地域の特徴を生かして実施しており、それぞれが主体性をもって企画・運営を行っている。
- イベントに応じて放課後児童クラブや幼稚園・保育所と連携し、プールまつりや図書まつりなど、多年齢の集団による多様な体験の場を提供している。また、教育活動推進員だけでなく地域のボランティア団体も活動に参画している。
- 湯の里小学校放課後子供教室は、小学校と保育園の複合施設である利点を生かし、幼児と保護者とも交流する放課後活動の場とするとともに、地域住民の交流の場としても活用している。

## 3 事業の成果

- 様々な地域の方が関わって活動を実施しているため、子どもたちも元気に挨拶するなど積極性が高まるとともに、地域住民も、朝の挨拶や交通安全運動時の声かけが明るくなり、地域全体で子どもたちを育てている自覚や、まちづくりに参画しているという機運が高まっている。
- 趣味や生涯学習から得た学びの成果を生かし、子どもたちに指導・助言することを通じて、大人と子どもの学びが循環し、教育活動推進員やボランティアの生きがいがいづくりにもつながっている。

基本データ	学校支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			1	7	12	H27	無
	子ども未来塾		統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
			1	10	15	H19	有
			実施場所	学習支援	児童クラブとの連携	公民館、各学校	1
	外部人材を活用した教育支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
			1	1	12	H27	無
	コミュニティ・スクール	○	設置日	委員数	児童生徒数	学級数	
		H26年4月1日	20	199	15		

## 1 活動の概要

- 知内町では、放課後子供教室を基盤にして、町内の幼稚園から高等学校までにコミュニティ・スクールを導入し、地域学校協働活動を推進している。
- 放課後児童クラブと一体型で活動を展開し、地域の教育力を活用して各学校区における特色ある体験活動を推進している。



（湯の里小学校教育推進員 高橋 幸恵 氏）

### 「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実

- 安心・安全な活動を行うために、学校・家庭・地域・教育委員会や教育活動推進員が連携し、運営委員会を開催

活動の継続発展・推進の取組

- 各学校運営協議会で放課後子供教室の活動報告を行うなど、コミュニティ・スクールの取組と連動することにより継続的な取組を展開

地域の特色を生かした活動

- 各学校区の教育活動推進員の主体的な事業企画・運営により、地域の特徴を生かした体験活動を実施。また、保護者や地域住民の交流の促進

# 「郷土愛を育む」高齢者と小学生とのふれあい学習

## 新篠津村 石狩管内

【活動名】

「ふれあい塾」

【関係する学校】

新篠津小学校



6年生：小豆脱穀・収穫祭（お汁粉づくり）の様子

## 2 特徴的な活動内容

- 「ふれあい塾」の取組は、開設当時は学社連携事業・学社融合事業として推進していたが、現在は、小学1年生から6年生のそれぞれの教育課程に位置付けて実施している。
- 村内各自治区の老人クラブから高齢者の参加を募り、年8回参加可能な高齢者20名を塾生として登録している。子どもたちに、地域の文化を伝えていくことは地域の大人の責任との思いによる「ふれあい塾」の実践は、子どもたちと地域住民と教職員をつなぐ取組となっている。
- 今年度は、6月に開校式と6年生の小豆種まき、1年生の円山動物園社会見学、9月は2年生と5年生の伝承遊び・小豆刈り、10月には脱穀と収穫祭、11月は閉校式を実施した。

## 3 事業の成果

- 子どもたちと高齢者のふれあいのほかに、教職員にとっても地域の方々とのよい交流機会となっている。本取組を通じて学校の活性化が図られ、各活動にも好影響が出ている。
- 体験的な学習を通じた生活文化や知恵の伝承などの「ふれあい塾」の取組は、シニア世代の社会参画意識の向上や生きがいづくりにも大きく貢献している。

基本データ	学校支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			0人	3人	20人	H3	無
	子ども未来塾		統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
	実施場所			学習支援	児童クラブとの連携		
	外部人材を活用した教育支援活動		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
	コミュニティ・スクール	○	設置日	委員数	児童生徒数	学級数	
			H29.4.1	12人	130人	8	

## 1 活動の概要

- 新篠津村では、平成3年度から子どもたちの体験活動の充実及び学校と地域の連携・協働を図るため、高齢者とのふれあい事業「ふれあい塾」を開設している。
- この取組は、次代を担う小学生に地域文化の伝承と高齢者との活気ある交流を目的として実施しており、平成29年度からは、コミュニティ・スクールの取組と連動させて実施している。



ふれあい学園運営委員会のみなさん

### 「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実	■ ふれあい学園運営委員長が中心となり、村教育委員会社会教育係と連携するなど、村内ネットワークを構築
活動の継続発展・推進の取組	■ 運営委員会の年度評価や反省等をもとに、次年度の年間予定を小学校と協働で作成
地域の特色を生かした活動	■ 新篠津小学校の授業と地域の主幹産業である農業を結び付けた体験的な教育活動を展開

「町は子どもたちを育てる大きな学校」の視点で教育活動を支援

安平町 胆振管内

【活動名】

コミュニティ・スクール

【関係する園・学校】

はやきた子ども園、遠浅小学校



【遠浅地区防災キャンプ事業（簡易ベットづくり）】

基本データ	学校支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			1人	24人	134人	H20	有
	子ども未来塾	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			1人	0人	6人	H30	無
	放課後子供教室	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
				1人	25人	H20	無
実施場所			学習支援	児童クラブとの連携			
外部人材を活用した教育支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助	
コミュニティ・スクール	○	設置日	委員数	園児児童数	学級数		
		はやきた子ども園 H28.4.1	10人	163名	9		
		遠浅小 H26.10.1	10人	43名	5		
		◆北海道（立）追分高等学校（H30.4.1）の導入により町内全教育機関（こども園2、小4、中2、高1）に設置					

1 活動の概要

- 安平町では、平成25年7月の追分小学校を皮切りに、町内の全ての教育機関に学校運営協議会を設置し、地域総がかりの教育の実現を目指している。
- 社会教育担当者と各校の「ふるさと教育・学社融合担当者（地域連携担当教諭）」が連携し、学校における教育活動や地域貢献への取組をコーディネートしている。



はやきた子ども園と早来小との交流

2 特徴的な活動内容

- はやきた子ども園では、「はやきただからできる」乗馬体験や自然体験、英語教育を推進しているほか、地域とのつながりを大切にするため、地域向けの園開放日「みんなの参観日」を設定している。また、学校運営協議会では、地域の関係機関と連携した子育て支援や放課後活動の充実に係る内容まで幅広く取り上げ、地域とのネットワークを構築している。
- 遠浅小学校では、学校運営協議会において、学校と地域のそれぞれの立場から、「災害時における避難所生活の体験が必要」との意見が出されたことを契機に、町をはじめ、町内外の関係機関や自治会、子ども会などが連携して、「遠浅地区防災キャンプ事業」を実施しており、災害時の協力体制構築の一助となっている。

3 事業の成果

- 安平町は、これまでも地域と学校が連携し、地域的人的・物的資源を活用した学校支援活動に取り組んできたが、町内の全ての教育機関にCSが導入されたことにより、幼小中高の連携についても、これまで以上に円滑に取組が推進されている。
- CSの取組が充実する過程で、「学校が取り組むこと」「地域が取り組むこと」「学校と地域が連携・協働して取り組むこと」が、これまでよりも明確になり、「地域住民の一人ひとりが、町の子どもたちを育てる当事者である」という意識が高まっている。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネート機能の充実	■社会教育担当者が地域の窓口、各校のふるさと教育・学社融合担当者等が学校の窓口となり、各活動を推進
活動の継続発展・推進の取組	■町の放送事業「あびらチャンネル」でCSの取組を町内全体に発信するほか、各学校でもCS通信を定期的に発行
地域の特色を生かした活動	■地域の農家や農業団体の協力のもと、収穫から稲刈りまでをサイクルとした「米学習」を小学5年生の授業として実施



# 地域の大人が力を合わせて、子どもたちを共に育てる取組

## 中札内村 十勝管内

【活動名】

中札内村地域協働型学校づくり協議会

【関係する学校】

中札内小・上札内小・中札内中



通学路の安全点検の様子

基本データ	学校支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			1名	24名	約100名	H19	無
	子ども未来塾		統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
			実施場所	学習支援	児童クラブとの連携		
外部人材を活用した教育支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助	
		1名	24名	—	—	無	
コミュニティ・スクール	○		設置日	委員数	児童生徒数	学級数	
			中札内小 H29.4.1	185名	211名	13	
			上札内小 H29.4.1	14名	14名	5	
			中札内中 H29.4.1	89名	98名	6	

## 1 活動の概要

- 中札内村では、平成29年度から3校合同の学校運営協議会を設置し、教育委員会職員がコーディネーター役を担い、教育委員会の主導で取組を推進している。
- 初年度に策定した「CSアクションプラン」をもとに、村の子どもたちの未来像を描きながら熟議を重ね、アンケート調査の実施や課題克服に向けた取組を進めている。

## 2 特徴的な活動内容

- 組織は、協議会と各学校部会で構成されており、PTA役員や地域住民、学校職員などが委員として所属している。協議会では村全体の教育課題、各学校部会では、学校や地域の教育課題の解決を進めている。
- 協議会では「CSアクションプラン」と学校経営方針をもとに、よりよい「あいさつ」「返事」の定着に向けた、実態調査や川柳・標語コンテスト、朝の健康ウォーキングと関連させたあいさつ運動を展開している。
- 各学校部会では、子どもの安全を守る安全マップ作り、体力向上に資する遊び場づくり、職業観を身に付ける職場体験学習などを行っている。
- CSや学校の特色ある取組を地域住民に幅広く周知するため、ポータルサイト（BLOG、Facebook）を運用し、情報を発信している。



協議会長：杉江 茂 氏

## 3 事業の成果

- 今年度実施したアンケート調査では、児童生徒（全体）の「あいさつ」「返事」に対する意識が向上し、取組の成果を得るとともに、今後の課題を明らかにすることができた。

「あいさつ」や「返事」がしっかりできることは大事なことだと思う。

「よくあてはまる」と回答した割合 6月 90.7% **UP** 92.9% (12月)

しっかりと「あいさつ」や「返事」ができれば、自分の将来に役立っと思う。

「よくあてはまる」と回答した割合 6月 71.4% **UP** 78.7% (12月)

### 「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実	■統括コーディネーターが中心となりワークショップを実施し、熟議を重ね、取組を推進
活動の継続発展・推進の取組	■登下校の見守り活動は当番制にしないなど、地域住民が無理なく参加できるよう工夫
地域の特色を生かした活動	■中札内中学校の職場体験は対象の生徒全員が村内にある事業所の協力で実施

# 地域を愛する子どもたちを育てる「東っ子サポーター」

## 中標津町 根室管内

【活動名】

地域学校協働活動

【関係する学校】

中標津東小



家庭科「ミシン学習」における学習支援

## 2 特徴的な活動内容

- 「東っ子サポーター」は、原則無償のボランティア。「東っ子サポーター7つの心得」の中には、「子どもたちの笑顔とすこやかな成長、心に育まれる地域への誇りがわたしたちへの報酬です」と謳われている。また、推進員である町教委生涯学習課職員によるコーディネートのもと、学校のニーズを「東っ子メール」により情報発信し、登録者が希望する活動とのマッチングを効果的に行っている。
- 活動は、体力測定やミシン学習の支援、地域の特色を熟知した人材による地域学習の講師等、多岐にわたる。また、活動への参加を通じて、地域を愛する子どもたちを地域の人たちの関わり合いの中で育む機運が学校を核として高まる仕組みが構築されている。人材確保に向けては、町内の読み聞かせサークルなどの既存の団体への働きかけも行っている。



〔中標津東小学校学校運営協議会会長 小柳ひろみ氏 (写真中央)〕

## 3 事業の成果

- サポーター制度が始まったことにより、「頼まれたことができるか自信はないけれど、子どもたちのために何かの役に立ちたい」という保護者・地域住民の意識が高まり、「東っ子サポーター」への登録が徐々に増えている。
- 効果的な支援活動の継続により、学校と地域の関係が近くなり、「東っ子サポーター」の取組が中標津東小学校における学校経営のグランドデザインの柱として盛り込まれるまでに至った。

基本データ	学校支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			0名	1名	19名	H20	有
	子ども未来塾		統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
	実施場所			学習支援	児童クラブとの連携		
	外部人材を活用した教育支援活動		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
	コミュニティ・スクール	○	設置日	委員数	児童生徒数	学級数	
			中標津東小 H30.2.28	7名	529名	26	

## 1 活動の概要

- 中標津町では、平成29年度までに、町内すべての小・中学校にコミュニティ・スクールを導入している。また、平成32年度に地域学校協働本部の設置を目指している。
- 中標津東小学校では、「東っ子サポーター」が、地域を愛する子どもたちを育むことをねらいとして、児童の様々な学習活動等の支援を行っている。

### 「地域学校協働活動」のポイント

コーディネート機能の充実	■ 学校のニーズとサポーター登録者の要望を、「東っ子メール」により効果的にマッチング
活動の継続発展・推進の取組	■ 中標津東小の保護者を中心に、幅広く地域の既存の団体等へ積極的な連携の働きかけ
地域の特色を生かした活動	■ 地域学習の講師や支援など、地域の特色を熟知した人材ならではの支援活動

# 地域のサポーターが子どもの見守りと豊かな体験活動を推進！

## 砂川市 空知管内

【活動名】

砂川市放課後学校

【関係する学校】

豊沼小・空知太小・北光小 他



地域の先生タイム（砂川音頭）

## 2 特徴的な活動内容

- 主な活動は「ふれあい遊びタイム」「地域の先生タイム」「四季タイム」「こつこつ勉強タイム」「読書活動タイム」「スポーツ・レクタイム」である。「地域の先生タイム」では、公民館サークルなどの地域の方が講師となり、砂川音頭やフラダンスなどの体験・学びの場を提供している。そのほかに、月1回「地域親子ふれあい日」を設け、地域住民や親子の触れ合いの場、地域に放課後学校の理解を深めてもらう場としている。
- 子どもたちが帰宅するまでを放課後学校の活動とおさえ、「さよならタイム」を実施している。子どもたちがサポーターとともに、通学路の安全を学習しつつ、異年齢集団で帰宅する活動としている。サポーターは、子どもたちの自宅の近くまで一緒に歩き、見守り活動を行っている。

## 3 事業の成果

- サポーターが放課後学校で子どもたちと一緒に活動することにより、知り合った子どもから別の機会に声をかけられる機会が多くなっており、子どもたちとの触れ合いが生きがいづくりにつながっている。
- 学校のカリキュラムでは取組が難しい多種多様な体験活動や地域住民、異学年との交流が子どもたちの成長につながっている。
- 全員が集合するまでの時間も運動や遊びを含めて活用し、子どものより安全な居場所づくりの役割を果たしている。

基本データ	地域学校協働基盤活動	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	
	子ども未来塾	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	
	放課後子供教室	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助	
		13人	14人	35人	H19	有	
		実施場所		学習支援	児童クラブとの連携一体型		
	豊沼小・空知太小・北光小他		有				
	土曜日等の教育支援活動	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助	
	コミュニティ・スクール	設置日		委員数	児童生徒数	学級数	

## 1 活動の概要

- 豊沼小学校、空知太小学校、北光小学校では、週1回、生涯学習推進アドバイザー、社会教育主事、サポーターによる「放課後学校」を実施している。
- 同じ校舎内で開設している放課後児童クラブの希望者も活動に参加できる一体型として実施している。
- 放課後学校の活動内容は、毎月のサポーター会議で協議し、決定している。（★サポーターは、老人クラブなどの地域人材）



地域の先生タイム（フラダンス）

### 「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実	■ 放課後子ども教室運営委員会にコーディネーターを置き、放課後児童クラブ、保護者、学校との連携を構築
活動の継続発展・推進の取組	■ 月に1度、地区ごとにサポーター会議を開催し、翌月の活動内容を運営者全体で協議する機会を設定
地域の特色を生かした活動	■ 校区の地域住民と連携することで「学び」と「安全管理」が融合した活動を実現

こんな活動です

# 市内の各放課後子ども教室間の横のつながりを創る！

## 富良野市 上川管内

【活動名】

### 富良野市放課後子ども教室

【関係する学校】

### 市内全小学校（9校）



情報交流の様子

## 2 特徴的な活動内容

- 各教室で実施している、地域住民と連携したさくらんぼ狩りや冬の雪遊び、体育協会と連携した「コオーディネーショントレーニング」やフロアカーリング、高齢者大学や「ふらのみらいらぼ事業」と連携した昔遊びやワークショップ、茶道やダンス、かるたなど、地域の特色を活かした、安全・安心な放課後の居場所づくりの工夫について、情報を交流した。
- 市独自のコーディネーター等研修会を道内4会場で行われている「北海道地域学校協働活動推進協議会」のプログラムを活用して開催し、各教室で実践できる屋内活動プログラムについて演習をとおして学んだ後、各教室の活動や講師に関する情報、運営する上での悩み等を共有した。



（屋内活動プログラムに取り組む参加者の様子）

## 3 事業の成果

- 初の試みだったが、参加者の満足度は高く、次年度に学びたいこととして多くの意見が出され、こうした研修会のニーズがあることがわかった。
- 「他教室の取組がとても参考になった」という多くの声から、推進員が情報交流を求めていることがわかり、次年度以降も継続的に実施していく必要性が確認された。
- 各子ども教室間、推進員同士のつながりが生まれ、子どもたちの活動の充実につながるきっかけができた。

基本データ	学校支援活動	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	子ども未来塾	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		5人	54人	78人	H20	有
		実施場所		学習支援	児童クラブとの連携	
	主に小学校の空き教室		有	無		
	外部人材を活用した教育支援活動	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
	コミュニティ・スクール	設置日		委員数	児童生徒数	学級数

## 1 活動の概要

- 富良野市では、主に小学校の空き教室を活用し、市内5か所で放課後子ども教室を展開している。
- これまで、各放課後子ども教室の活動や推進員同士の情報交換の場がなく、それぞれの運営の仕方や活動内容を知る機会がなかったため、各教室や推進員の横のつながりをつくること、事業の全体的な更なる充実を図ることを目的として、研修会を実施した。

### 「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実

- 統括コーディネーターが中心となり、各教室の状況と推進員の求めを把握し、活動に役立つようにネットワーク化を促進

活動の継続発展・推進の取組

- 研修会に向けて推進員の悩みや学びたいことを調査し、ニーズに合った企画を検討・実施

地域の特色を生かした活動

- 各教室が設置されてからの年数に差があるため、蓄積されたノウハウを共有し、活動の充実を促進

こんな活動です

地域の人・こと・ものにふれ、郷土愛を育む「放課後子供教室」

中頓別町 宗谷管内

【活動名】

中頓別町放課後子どもプラン

【関係する学校】

中頓別小学校



冬休み中のスキー活動

2 特徴的な活動内容

- 創作活動では、子どもたちが自由に思い描き、色とりどりのこいのぼりを完成させるなど、子どもたちの創造性を重視した活動を行っている。また、公共施設における花壇への苗植えを通して、環境美化について体験的に学ぶ取組を行っている。
- 子どもチャレンジ教室（夏・冬）では、大学生ボランティアが運営に携わり、子どもたちの学力・体力向上を目的とした「算数教室」や「水泳教室」「スキー教室」などを実施するとともに、自己肯定感を育むために地域の人的・物的資源を活用した、多様な「体験活動」を実施している。
- 地域コーディネーターが、地域総掛かりで子どもを育成する基盤の構築と学校を核とした地域づくりを目指している。

3 事業の成果

- 「算数教室」や地域人材を活用した「絵手紙教室」の活動では、子ども自身が学び方を身に付けられるように内容を工夫したプログラムを企画・実施することで、学習習慣の定着を促すとともに、地域住民と深く関わる機会を創出することができた。
- 地域の人的・物的資源を積極的に活用することで、学校の教育課程内の活動で取り組むことが難しい「体験活動」を多く実施することができた。
- 地域全体に「中頓別町放課後子どもプラン」の各活動の理解が進み、登録児童数が増加している。

基本データ	学校支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			1	5	0	H22	有
	子ども未来塾		統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
			1	2	25	H28	有
			実施場所		学習支援	児童クラブとの連携	
			中頓別町民センター		有	連携型	
	外部人材を活用した教育支援活動		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
コミュニティ・スクール	○	設置日		委員数	児童生徒数	学級数	
		H29. 4. 1		10	101名	12	

1 活動の概要

- 中頓別町では、児童の放課後等における活動を支援するため、「中頓別町放課後子どもプラン」を策定し、「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」を一体的に運営している。
- 教育委員会と保健福祉部が連携し、子どもたちが地域社会の中で、安全で健やかに過ごすことができる居場所づくりを推進するため、地域の特色を生かした体験活動や交流活動を支援している。



こいのぼりづくり

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実	■ 地域コーディネーターが、児童クラブ指導員と連携し、各プログラムの支援員との連絡・調整を実施
活動の継続発展・推進の取組	■ 地域住民に対し、活動内容の周知と事業への参加を促進することを目的に毎月、「放課後プランだより」を発行・全戸配付
地域の特色を生かした活動	■ 幅広い年齢層の支援員を構成することで、地域による教育支援活動の一層の活性化を促進

こんな活動です

# 様々な機関や団体等が関わり、 オール津別で子どもたちを育む「アソビバ!つべつ」

## 津別町 オホーツク管内

【活動名】

放課後子ども教室「アソビバ!つべつ」

【関係する学校】

津別小学校・津別中学校



(通学合宿のもちつきの様子)

基本データ	学校支援活動	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	子ども未来塾	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		1人	20人	15人	H20	有
		実施場所	中央公民館ほか	学習支援	児童クラブとの連携	有
	外部人材を活用した教育支援活動	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
	コミュニティ・スクール	設置日	委員数	児童生徒数	学級数	

### 1 活動の概要

- 津別町では町教委、林政係、JA などが実施する子ども向け事業が週末に重なることが多かったため、社会教育担当者を中心に統合を図り、平成 20 年から「放課後子ども教室『アソビバ!つべつ』」として実施している。
- それぞれの団体には事業協力という形でサポートしてもらい、自然体験活動や農業体験、通学合宿事業等も含め、年間 30~40 の事業を実施している。

### 2 特徴的な活動内容

- 本事業は登録制であり、放課後児童クラブの子どもたちも登録が可能で、土日等の事業は一緒に参加できる体制としている。
- 通学合宿では町教委の人材バンク登録者及び登録団体、読書活動では読み聞かせ団体、農業体験では JA つべつ青年部、ツリーイングや林業体験では町の林政係、体力測定会やハイキングなどはスポーツ推進委員の支援のように、様々な団体、機関等の協力により事業を実施しており、地域全体で子どもたちを育む機運の醸成が図られている。
- 美幌町教育委員会との合同事業として、いかだづくりや川下り体験等を実施し、子どもたちに広域的な交流の機会も提供している。



(推進員：JA つべつ青年部)

### 3 事業の成果

- 町教委、林政係、JA などの子どもを対象とした事業を「アソビバ!つべつ」に統合したことにより、参加者の分散を防ぐとともに、それぞれの団体等の長所・特徴を生かした事業を運営することができている。
- 林政係や JA は専門的な知識や技能による支援、町教委は事業の企画やプログラム構成などの支援をすることで、お互いに連携のメリットを感じることができ、本事業以外でも連携して取り組みやすい環境が構築されてきている。

#### 「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実

- 社会教育担当係から人材バンクに登録している団体等に、年間の事業案内を送付し、協力するきっかけを提供

活動の継続発展・推進の取組

- 事業に関わった団体等に礼状を送付し、次への参加意欲を高め、団体活動の継続・発展に貢献

地域の特色を生かした活動

- 町の基幹産業である林業について学ぶ機会の提供や、チミケップ湖などの豊かな自然を生かした自然体験活動の提供

こんな活動です

## 地域の大人との交流をととした多様な体験学習

### 今金町 檜山管内

【活動名】

今金わくわくカレッジ“イマカレ”

【関係する学校】

今金小・種川小・今金中



ウィンターキャンプ（災害食体験）

基本データ	学校支援活動	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	子ども未来塾	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		実施場所		学習支援	児童クラブとの連携	
	外部人材を活用した教育支援活動	○ 統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		1人	7人	30人	H26	有
	コミュニティ・スクール	○ 設置日		委員数	児童生徒数	学級数
		種川小 H29.08.01		10人	19人	4学級
		今金小 H30.11.14		16人	200人	8学級
			今金中 H30.11.14	(合同)	114人	7学級

### 1 活動の概要

- 今金町では、学校の長期休業中や土・日曜日にスポーツ活動や文化活動等を実施することにより、多様な体験活動を推進するとともに、子どもたちの交流活動を促進している。
- 児童生徒にふるさとへの愛着を持ってもらうため、地域資源や人材を活用した年8回のプログラムを展開している。

### 2 特徴的な活動内容

- 今金町は、「読書と作文のまち」をキーワードに教育活動を推進しており、子どもたちの読書への関心を高めることを目的として、町内の読み聞かせボランティアと連携し、「おはなし会」を実施している。
- 「ドリームバスツアー」では、町内で経験できない都市体験（札幌自主研修等）をプログラムに取り入れた宿泊体験事業を実施し、地域の方々にも運営ボランティアとして参加いただいている。
- 「ウィンターキャンプ」では、昨年9月に発生した北海道胆振東部地震を受け、こども会連合会・女性団体と連携し、ダンボールベッド作りや災害食体験（アルファ米・備蓄パン・豚汁）を実施している。



（推進員：樋口 喬士 氏）

### 3 事業の成果

- 地域にある文化施設等の教育資源を活用するとともに、町外で見聞を広げる学びを取り入れることで、改めて自分が住む地域の良さに目を向けるきっかけとすることができた。
- 地域住民が、子どもと一緒に企画・活動することで、地域ぐるみで子どもを見守り・育てる体制づくりの気運を高めることができた。

#### 「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実	■町教委の社会教育主事がコーディネーターとなり、地域の各団体との連携を推進
活動の継続発展・推進の取組	■地域住民が子どもの指導をしやすいう、十分な打ち合わせ時間の確保・サポート体制の充実
地域の特色を生かした活動	■町民センター図書室やピリカ旧石器文化館等の施設を活用した読み聞かせ活動等の工夫

こんな活動です

# 地域とともに「ふるさと」のよさに気付く「子ども自然教室」

## 羽幌町 留萌管内

【活動名】

羽幌町子ども自然教室

【関係する学校】

羽幌町立羽幌小学校



地引網体験の様子

基本データ	学校支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			1人		7人		
	子ども未来塾		統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
			1人	6人	20人		無
			実施場所		学習支援	児童クラブとの連携	
			公民館・体育館等		無	有	
	外部人材を活用した教育支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
			1人	6人	20人		無
コミュニティ・スクール	○	設置日		委員数	児童生徒数	学級数	
		平成30年4月1日		16人	296人	15	

### 1 活動の概要

- 羽幌町では、土曜日等における「自然教室」を年間10回程度実施し、学校外活動を促進している。
- 町内だけでなく、町外での活動を含め、地域の自然や産業に関わる様々な体験活動を実施しており、自分たちの住む地域に目を向けることにより郷土を愛する心を育む「ふるさと学習」を地域全体で推進している。



めん羊クラフト体験の様子  
(推進員である町教委職員と地域人材)

### 2 特徴的な活動内容

- 地域に触れ、よさについて考えることができるよう地域人材を活用したプログラムを実施している。
  - ・地引き網体験：北るもい漁業協同組合、漁協青年部
  - ・めん羊クラフト体験：緬羊工房アイランドサフォーク
  - ・ツリー飾り・餅つき体験：羽幌ライオンズクラブ・寺子屋塾
- めん羊クラフト体験では、焼尻島特産の「焼尻めん羊」の毛を使って、糸紡ぎを行ったり、簡単な小物を制作したりしている。
- 町内にある離島を活用した宿泊体験では、世界的に貴重な離島独自の生態系や地域産業について学ぶ機会を提供している。

### 3 事業の成果

- 地域人材を活用し、地域産業や伝統・文化についての学びを提供することで、参加者がふるさとについての興味・関心をもち、「ふるさと学習」を進める機会となっている。
- 地域人材の協力を継続的に得ることで、地域住民が地域全体で子どもを育成するという意識を醸成することにつながっている。

#### 「地域学校協働活動」のポイント

コーディネート機能の充実	■教育委員会社会教育課全体がコーディネート機能を果たすことにより、地域との連携を推進
活動の継続発展・推進の取組	■地域資源を有効に活用することにより、地域の社会教育関係団体や地元企業等との連携を推進
地域の特色を生かした活動	■天売島・焼尻島を活用した宿泊体験の実施により、地域の自然や産業についての学習機会を提供



# 学校教育と社会教育が連携した「ふるさと教育」の推進

## 白糠町 釧路管内

【活動名】

白糠町「ふるさと教育」

【関係する学校】

庶路学園



アイヌ民族料理の調理体験の様子

### 2 特徴的な活動内容

- 土曜授業においては、アイヌ文化協会による出前授業を活用し、子どもたちの遊びの伝承・アイヌ語に関する学習・アイヌ民族料理体験（コンブシト・ユック丼）・伝統楽器「ムックリ」の演奏体験・古式舞踏輪踊り体験・アイヌ刺繍文様づくり体験等を実施している。
- 課外活動においては、生徒会やボランティアクラブの子どもたちが中心となり、町内会や青少年健全育成会、総合振興局等と連携し、公園の花壇整備や海岸清掃を行っている。学校と地域が一体となり、地域の現状や課題を見つめながら関係を深め、美しい環境を維持する活動に取り組んでいる。

### 3 事業の成果

- 地域の文化に触れ、地域住民と関わる機会を充実させることで、子どもたちの学習がより一層深まり、地域の良さを共に見つめるきっかけとなった。
- 地域の町内会や企業と合同で地域の環境保全に向けた美化活動を実施することで、子どもたちと地域住民が、地域の課題を共に考える機会を創出することができ、「地域とともにある学校」と「学校を核とした地域づくり」を両輪で推進することができている。

基本データ	学校支援活動	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	
	子ども未来塾	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	
	放課後子供教室	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助	
		実施場所		学習支援	児童クラブとの連携		
	外部人材を活用した教育支援活動	○	統括的な推進員数 0人	推進員数 13人	子どもの平均参加人数 162人	開始年度 H28	国庫補助 無
	コミュニティ・スクール	○	設置日 H30.4.1		委員数 13人	児童生徒数 162人	学級数 16

### 1 活動の概要

- 平成9年度から学校教育と社会教育が連携し、「ふるさと教育」を実施し、平成28年度からは土曜授業においても取組を進めている。また、平成30年度からはコミュニティ・スクールを導入し、取組を充実させている。
- 地域資源を有効的に活用しながら地域の文化団体や町内会、企業等と連携・協力し、取組を推進している。



推進員：町教委社会教育課職員

#### 「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実	■教育委員会社会教育課全体がコーディネーター役を担い、地域と学校の連携を推進
活動の継続発展・推進の取組	■地域資源を有効的に活用するため、地域の文化団体や町内会、企業等と連携
地域の特色を生かした活動	■白糠アイヌ文化保存会による出前授業、地域と連携した環境保全や美化活動の実施

# 地域の特色を生かし、学習への興味・関心を育む活動

## 黒松内町 後志管内

【活動名】

黒松内町営塾「ぶなっこ学習センター」

【関係する学校】

黒松内中学校・白井川中学校



学習の様子

## 2 特徴的な活動内容

6月から2月までの毎週火・木曜日に黒松内町ふれあいの森情報館「マナヴェール」を会場に中学生向けに実施している。昨年度は11月～2月の事業だったため、登録者が20余人程だったが、今年度は期間を延長し、32名の生徒が登録している。

5月末に町教委職員が東京理科大学長万部キャンパスに赴き、学生向けに講師募集の説明を実施し、今年度は84名の応募があった。講師期間を4期に分けて全員が講師として関わることができるように対応した。

町内には学習塾がないため、学校以外で学習指導を受ける手立てがない中、大学生が指導者となり、個に応じた学習指導を行っている。

## 3 事業の成果

- 学校とは違った環境の中で学習を行うことで、生徒たちは気軽に学習内容について聞くことができ、学習効果が高まっている。
- 毎回必ず参加する生徒も多く、学習内容でわからないときは大学生に質問するなど、意欲的に学習する態度が見られた。
- 大学生も寮生活で地域の人との交流が少ない中、町営塾の活動を通して、生徒たちや地域の人とふれあう機会となっている。

基本データ	学校支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			1	3	—	1997	無
	子ども未来塾	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			1	2	84	2017	無
	放課後子供教室	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
			2	9	20	2007	有
			実施場所		学習支援	児童クラブとの連携	
			町民センター/白井川小		有	連携型・一体型	
	外部人材を活用した教育支援活動		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
コミュニティ・スクール	○	設置日		委員数	児童生徒数	学級数	
		黒松内中 H30.7.23		10	87	6	

## 1 活動の概要

- 町営塾「ぶなっこ学習センター」は、中学生を対象として、放課後に実施し、「より深く学ぶ場」として、知識の定着から発展的な学びへとつなげる学習機会を提供している。
- 学力向上を目指すとともに、中学生本人の学びへの興味及び学ぶ意欲を高めることを目的としている。



学びのコーディネーター：丸口弘之氏

### 「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実

- 学びのコーディネーターを中心とした、当日参加できる大学生とのメールによる連絡調整

活動の継続発展・推進の取組

- 年度当初に大学へ赴き、事業内容の説明を行い、講師となる大学生を継続的に確保

地域の特色を生かした活動

- 学力向上と学びへの興味、学ぶ意欲の向上に資する活動とするため、隣町にある大学の学生を活用

# 中学校と連携し、個に応じた学習支援を目指す地域未来塾

## 上川町 上川管内

【活動名】

上川地域未来塾

【関係する学校】

上川中学校



タブレットを活用して学習する参加者の様子

基本データ	学校支援活動		統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	子ども未来塾	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			1	1	随時	H28	有
	放課後子供教室		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
			実施場所		学習支援	児童クラブとの連携	
	外部人材を活用した教育支援活動		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
	コミュニティ・スクール	○	設置日		委員数	児童生徒数	学級数
			H30.4.1		10	200名	16

## 1 活動の概要

- 上川町では、学習習慣の確立に向け、中学生を対象に、無料の学習支援として地域未来塾を実施している。
- 夏季休業期間中と冬季休業期間中に各4日間実施し、毎回20名程度の生徒が参加し、生徒が持参する教材の学習を中心に各日2時間程度実施している。

## 2 特徴的な活動内容

- 旭川大学と直接連携し、学生を学習サポーターとして活用することで継続的なサポート体制の確立を図っている。
- 中学校に担当教員がおり、事業目的や内容に関する打合せを行うなど、学校とのスムーズな連携の上で実施しているため、相互の要望を協議しながら企画することができている。また、当日は複数の教員がサポーターとして事業に参加している。
- 学習内容は、生徒自らが持参する教材の他、タブレットを活用し、個人で学習できる環境を整えている（クラウド型 SKYSEA、ラインズ e ライブリアドバンス等の活用）。



大学生の学習サポーター

## 3 事業の成果

- 関係者間で、生徒の要望や学校運営の課題に関して交流した上で、平日開催や学習内容の検討を行っており、中学校との協働体制がこれまで以上に確立された。
- 本事業は、学校運営協議会にも報告されており、今後、高校生も含めた地域人材を活用した事業展開について検討することができている。
- タブレット端末等、プログラミング学習に対応する環境整備が進んだことで、生徒に提供できる学習の幅が広がり、生徒の学習習慣の確立につながった。

### 「地域学校協働活動」のポイント

コーディネート機能の充実

- 教育委員会が事務局となってコーディネート機能を担い、効率的な運営を実現

活動の継続発展・推進の取組

- 地域学校協働活動として位置付け、コミュニティ・スクールとの連携体制の構築により、改善を加えながら実施

地域の特色を生かした活動

- 中学校と近隣大学との連携体制を活用することで、計画的な事業実施が実現

【過去の実践事例集について】

- ◇ 北海道教育委員会では、平成26年度からの実践事例集をホームページに掲載しています。ぜひ御活用ください。

URL : <http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/kcs/kyoikushien24.htm>

平成26年度  
学校・家庭・地域の連携による  
教育支援活動  
～実践事例集～

北海道教育委員会  
平成27年3月

～ 目 次 ～

1. 平成27年度版の「地域による学校支援活動」掲載の中心となる教科書学習支援活動

①オホーツク管内・網走市（学校支援地域本部事業）	F 1
②十勝管内・帯広市コソシロダ小学校（学校支援地域本部事業）	F 2
③十勝管内・帯広市江利国小学校（学校支援地域本部事業）	F 3

2. 北海道内、学校・家庭の連携による教科書学習支援活動の事例

①空知管内・栗山町（学校支援地域本部事業）	F 4
②石狩管内・石狩市（放課後子供教室推進事業）	F 5
③釧路管内・厚岸町（放課後子供教室推進事業）	F 6
④上川管内・上川町（放課後子供教室推進事業）	F 7
⑤オホーツク管内・小清水町（放課後子供教室推進事業）	F 8
⑥十勝管内・清水町（放課後子供教室推進事業）	F 9
⑦釧路管内・今金町（土曜学習）	F 10
⑧オホーツク管内・網走市（土曜学習）	F 11

3. 土曜学習の実践事例

①釧路管内・網走市	F 12
②上川管内・土曜市	F 13
③釧路管内・網走市	F 14

～平成26年度～

平成27年度  
学校・家庭・地域の連携による  
教育支援活動  
～実践事例集～

北海道教育委員会  
平成28年3月

～ 目 次 ～

1. 平成27年度版の「地域による学校支援活動」掲載の中心となる教科書学習支援活動

①釧路管内・釧路市（学校支援地域本部事業）	F 1
②空知管内・樺戸町（放課後子供教室）	F 2
③オホーツク管内・網走市（放課後子供教室）	F 3

2. 北海道内における実践事例

①空知管内・樺戸町（放課後子供教室）	F 4
②空知管内・樺戸町（放課後子供教室）	F 5
③十勝管内・清水町（放課後子供教室）	F 6
④空知管内・帯広市（子ども未来館）	F 7
⑤石狩管内・江利町（子ども未来館）	F 8
⑥空知管内・古平町（子ども未来館）	F 9
⑦上川管内・東神楽町（子ども未来館）	F 10
⑧上川管内・東神楽町（土曜学習）	F 11
⑨釧路管内・釧路市（コミュニティ・センター）	F 12

～平成27年度～



平成28年度「地域学校協働活動」実践事例集 もくじ

- 事例集の構成について
- 平成28年度「地域学校協働活動」実践に導く学習科学実践研究委員会
- 01 占冠村 (占冠町) 総合学習活動「つとてつとて」
- 02 雄江市 (雄勝町) 総合学習活動「地域の未来を創る」
- 03 東山町 (大館市) 総合学習活動
- 各分野における実践事例
- 04 東川町 (大館市) 学校支援活動
- 05 西館町 (雄勝町) 学校支援活動
- 06 浜海町 (雄勝町) 学校支援活動
- 07 豊浜市 (大館市) 学校支援活動
- 08 平取町 (大館市) 学校支援活動
- 09 厚沢野町 (雄勝町) 学校支援活動
- 10 大空町 (大館市) 学校支援活動
- 11 鹿越町 (雄勝町) 学校支援活動
- 12 利尻町 (利尻町) 学校支援活動
- 13 白糠町 (雄勝町) 学校支援活動
- 14 小樽市 (小樽市) 子ども未来塾「子ども未来塾」
- 15 常呂郡町 (雄勝町) 子ども未来塾

北海道教育委員会



平成29年度「地域学校協働活動」実践事例集 もくじ

- 事例集の構成について
- 平成28年度「地域学校協働活動」実践に導く学習科学実践研究委員会
- 01 雄勝町 (雄勝町) 学校支援活動
- 02 白糠町 (雄勝町) 学校支援活動
- 各分野における実践事例
- 03 厚真町 (厚真町) 学校支援活動
- 04 穂積町 (大館市) 学校支援活動
- 05 釧子郡町 (大館市) 学校支援活動
- 06 大空町 (大館市) 総合学習活動「つとてつとて」
- 07 釧路市 (釧路市) 学校支援活動
- 08 釧路市 (釧路市) 学校支援活動
- 09 留寿館町 (大館市) 学校支援活動
- 10 雄町町 (雄勝町) 学校支援活動
- 11 知内町 (雄勝町) 学校支援活動
- 12 萩原市 (雄勝町) 学校支援活動
- 13 鹿越町 (雄勝町) 学校支援活動
- 14 新尻町 (大館市) 子ども未来塾
- 15 上磯郡町 (大館市) 子ども未来塾
- 16 洞爺郡町 (大館市) 子ども未来塾

~平成28年度~

~平成29年度~

## 平成30年度「地域学校協働活動」実践事例集

発行

平成31年3月  
北海道教育委員会

問合せ

〒060-8544  
札幌市中央区北3条西7丁目  
北海道教育庁学校教育局義務教育課子ども地域支援グループ  
TEL 011-204-5753  
FAX 011-232-1072  
URL <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/kcs/index2.htm>

学校支援活動

外部人材を活用した  
教育支援活動

放課後子供教室

子ども未来塾